



1 放送による聞き取りテスト (11点)

2 次の各問いに答えなさい。(12点)

問一 次の(1)～(5)の——の漢字の読みがなを書け。  
また、(6)～(10)の——のカタカナの部分<sup>かひしよ</sup>を楷書<sup>かいしよ</sup>で漢字  
に書き改めよ。

- (1) 寸暇<sup>すんげ</sup>を惜<sup>おぼ</sup>しんで勉強<sup>べんきやう</sup>する。  
(2) 示唆<sup>しそく</sup>に富<sup>と</sup>むお話を聞<sup>き</sup>いた。  
(3) この地区<sup>ちく</sup>は殊<sup>こと</sup>に坂<sup>さか</sup>が多い。  
(4) 声<sup>こゑ</sup>を潜<sup>ひそ</sup>めて話<sup>わ</sup>す。  
(5) 部活<sup>ぶくわつ</sup>を通<sup>とほ</sup>して友情<sup>ゆうじやう</sup>を培<sup>つちか</sup>う。  
(6) エイコ盛衰<sup>せいすい</sup>は世<sup>よ</sup>の習<sup>な</sup>いである。  
(7) 将来<sup>しやうらい</sup>のためにチヨチク<sup>ちよちく</sup>する。  
(8) 幅<sup>はた</sup>広<sup>ひろ</sup>く寄付<sup>よせつけ</sup>をツ<sup>つ</sup>ノ<sup>の</sup>る。  
(9) 難民<sup>なんみん</sup>に食料<sup>じきりょう</sup>をホドコ<sup>ほどこ</sup>す。  
(10) 十分<sup>じふぶん</sup>な距離<sup>きょり</sup>をタ<sup>た</sup>モ<sup>も</sup>つ。

問二 次の——線部の漢字として適切なものはどれか。

- (1) 心臓<sup>しんざう</sup>イシ<sup>いし</sup>シヨク<sup>しよく</sup>の手術<sup>じゆてい</sup>をする。  
① 属 ② 殖 ③ 嘱 ④ 植
- (2) 給料<sup>きりょう</sup>を旅費<sup>りょひ</sup>にア<sup>あ</sup>てる。  
① 亜 ② 充 ③ 宛 ④ 当

3 次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(14点)

世の中に長恨歌(注1)といふふみを、物語(注2)に書いて持っている人がいるぞうだ

と聞くに、いみじくゆかしけれど、え言ひよらぬに、さるべき知り合(注3)い

を尋ねて、七月七日言ひやる。

ちぎりけむ昔の今日のゆかしさに天の川浪(注4)うち出でつるかな

——その昔、玄宗皇帝と楊貴妃が会ったという七夕の今日、長恨歌のことが知りたくて、天の川の波が現れ出るように、思い切つてあなたに貸してほしいとお願ひしたのです。

返し、

たち出づる天の川辺のゆかしさにつねはゆゆしきことも忘れぬ

——長恨歌は本来不吉な悲恋の物語ですが、織姫と彦星が出で立つて会うという天の川辺に心ひかれる今宵ゆえに、そのことも忘れてしまいます。(ですから、

A

——「更級日記」より

(注1) 長恨歌 —— 『白氏文集』に収められている白居易の作品

唐の玄宗皇帝と楊貴妃との悲恋を描いており、日本の平安貴族にも広く愛された。

(注2) うち出で —— 「姿が出る」の意と「口に出る」の意がかけられている。

問一 ふみ1の本文中の意味はどれか。

- ① 手紙
② 学問
③ 漢詩
④ 文書

問二 え言ひよらぬに の意味として適当なのはどれか。

- ① 近寄れないでいるうちに
② 求愛できずにいるうちに
③ 訪問できずにいるうちに
④ 頼み込めないでいるうちに

問三 七月3の月の異名の読みを書け。

問四 ちぎりけむ4を現代かなづかいで書け。

問五 Aに入る表現としてふさわしいのはどちらか。

- ① お貸しいたしましょう。
② お貸しすることはできません。

4

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(27点)





問一 気<sup>1</sup>にかけず 目<sup>7</sup>を凝らした の本文中での意味はどれか。

- (1)
- ① 振りかえらず
  - ② 心にとめず
  - ③ 心配せず
  - ④ 見て見ぬふりをし

- (2)
- 目を凝らした
- ① じっと見た
  - ② ちらっと見た
  - ③ 見守った
  - ④ 目を見開いた

問二 まつげがガラスを撫<sup>2</sup>でた とあるが、この部分に用いられている修辞法はどれか。

- ① 倒置法
- ② 直喩法
- ③ 隱喩法
- ④ 擬人法



問三 X Y にあてはまる言葉として最も適切なものはどれか。

- ① あつさりと
- ② やんわりと
- ③ きつぱりと
- ④ ぼつりと

X

- ① 弱々しく
- ② さびしげに
- ③ やわらかく
- ④ 生き生きと

Y

問四 <sup>3</sup> 古本屋に行ってるんだ とあるが、「わたし」が古本屋の様子を想像している部分を抜き出し、最初と最後の五字を書け。  
(句読点含む)

問五 <sup>4</sup> テレビではラグビーの試合をしていた はいくつの単語からできているか。

- ① 九
- ② 十
- ③ 十一
- ④ 十二

問六 <sup>5</sup> 春の海の波のように根気強かった とはどういうことか。

- ① 「わたし」の質問に対して穏やかに一つひとつ丁寧に教えてくれ、あきれたり面倒に思ったりする様子もないということ。

- ② 「わたし」の質問に対して終始熱の入った様子で答え、「わたし」が理解するまで何度も教えてくれるということ。

- ③ 「わたし」の質問に対していら立ちもせず優しく答え、わからないことに関しては一緒に考えてくれるということ。

- ④ 「わたし」の質問に対して素っ気ない口調で答えはするが、「わたし」の質問を不愉快に思う様子もないということ。

問七 <sup>6</sup> 歓声 と同じ構成の熟語はどれか。

- ① 日没
- ② 難問
- ③ 温暖
- ④ 乗車

問八 <sup>8</sup> ある中学校の生徒が、「ワンピースの色は、もうすっかり夜の闇に飲み込まれていた。」という一文に着目し、それぞれ感想を述べ合った。I II に入る内容として最も適切なものはどれか。

Aさん…この小説は、「死」を感じさせる場面があるよね。「わたし」がK君と再会したのが同級生のお通夜であったり、「わたし」の母校の図書室が火事になった際に亡くなった人もいるという話を聞いたりする場面。そこから繋がる部分があるんじゃないかな。

Bさん… Aさんの感想を踏まえると、私は最後の場面で、闇の色に飲み込まれたワンピースは **I** をイメージさせるものなのではないかと思つたよ。

Cさん… たしかにそのようにイメージできるね。すると「わたし」が校庭で見たK君と「彼女」の姿がいつの間にか消えていたことは、二人が母校の図書室の火事で亡くなったことを想像させるね。

Dさん… では、K君の入れてくれた紅茶が冷めていなかったことや、K君の家からの帰り道、「わたし」がねじれの渦にはまり込んでいると感じたのは **II** ということなんじゃないかな。

- ① 着物
- ② 喪服
- ③ スーツ
- ④ K君と同居人の女性はすでに亡くなっており、「わたし」は二人と接することで現実ではない世界に足を踏み入れた
- ⑤ K君と同居人の女性には「わたし」の知らない過去があり、「わたし」はそれを知ることができず苦しんでいた
- ⑥ K君と同居人の女性は「わたし」がすでに亡くなっていることに気づいており、「わたし」だけがそれを知らずにいる

問九 この文章についての説明として最も適切なものはどれか。

- ① K君の心情を描かなくても、風景描写や「わたし」との会話からK君の思いを読者が想像できるものになっている。
- ② 会話を多用しているため、「わたし」とK君が同級生であるという関係性が読者にわかりやすいものになっている。
- ③ 「彼女」の性格や行動をはっきり示すことで、K君の「彼女」に対する愛情や思いが読者に伝わりやすくなっている。
- ④ 「わたし」が見る世界の風景や人物の様子を、比喩を用いて表現することで、それぞれの場面を読者に印象づけている。

5

次の文章を読んで、後の問いに答えなさい。(36点)

—— 伊藤亜紗編「利他とは何か」より ——  
(注1) 利他 —— 自分を犠牲にして他人のために尽くすこと。  
(注2) はとバス —— 東京の名所をめぐる観光バス。  
(注3) 晴眼者 —— 視覚に障害のない者。

問一 窮屈さ<sup>3</sup> 合理的<sup>8</sup> の本文中での意味はどれか。

- (1) 窮屈さ
- ① 不自由さ
  - ② 狭苦しさ
  - ③ 疎外感
  - ④ 多忙感

(2) 合理的

- ① 体系的
- ② 理性的
- ③ 科学的
- ④ 効率的

問二 他者のために何かよいことをしようとする思い<sup>1</sup> を端的に言い換えた漢字二字の熟語を抜き出せ。

問三 I [ ] II [ ] III [ ] IV [ ] に入る語の組み合わせと

して最も適当なものはどれか。

- ① I 次に II ところが III 従って IV また
- ② I たとえば II けれども III むしろ IV つまり
- ③ I つまり II 一方で III ところで IV 要するに
- ④ I しかし II だから III たとえば IV そして

問四 ように<sup>2</sup> と同じ働きのものはどれか。

- ① 山に雲がかかっているので、雨が降るようだ。
- ② 朝の教室の静けさは、水を打ったかのようにだ。
- ③ 将来は憧れのプロ野球選手のようにになりたい。
- ④ 彼のように努力した人は必ず成功するはずだ。

問五 「正義」<sup>4</sup> を実行するための道具にさせられてしまう とは  
どういうことか。

- ① 障害者を助けようとする健常者の独りよがりな行動が、障害者の自立を妨げ、彼らの気持ちを無視したものと働くこと。

② 障害者が健常者の思いを満足させることによって、双方が幸せを感じる機会を得られている相互依存関係であるということ。

③ 健常者が障害者を援助しようとする行為は、障害者の人格や思いを無視した行動であり、常に非人道的であるということ。

④ 障害者の望まないボランティアが、健常者の立場の「正義」の名のもとに暴力的かつ恒常的に行われているということ。

問六 やさしさ<sup>5</sup>が、当事者を追い込んでいる と言えるのはなぜか。

① 周囲の人たちから常に助けられている状況で、援助を拒むと健常者から怒られてしまうから。

② 周囲の人たちが自立をうながすことによって、精神的にも肉体的にもつらい状況に追い込まれているから。

③ 周囲の人たちから信じてもらえない状況が、自らの無力感を痛感させ、孤立した状況に追いやられているから。

④ 周囲の人たちの「助け」によって、自分の力をつかう機会を奪われ、自らの価値を見出せなくなっているから。

問七 A [ ] B [ ] C [ ] D [ ] には「信頼」か「安心」のいずれかの語が入る。それぞれに入る語はどれか。

- ① 信頼
- ② 安心

